

本件は東京都と同時に発表しております。

中央線における踏切横断対策について

2003年10月21日
東日本旅客鉄道株式会社

中央線連続立体交差事業の仮線路切換工事に伴い、踏切の延長や遮断時間が増大したことから踏切の横断を円滑にするため、東京都と協議した結果、10月15日に弊社が発表した対策に加え、以下の**歩行者・自転車対策**を行います。

1. 歩行者・自転車対策

(1) 仮設歩道橋の設置

- 駅間の中間部に、歩行者・自転車の線路横断可能な施設を確保します。
- ・西原踏切(延長18.5m)付近(武蔵境～東小金井間 武蔵野市内)
工事期間：3～4ヶ月(別紙の 箇所)
 - ・緑町踏切(延長14.9m)付近(東小金井～武蔵小金井間 小金井市内)
工事期間：3～4ヶ月(別紙の 箇所)
- 施工にあたっては工事期間の短縮に努めます。

(2) 踏切の歩道幅員の拡幅

- 踏切の拡幅によりスムーズな通行が可能な箇所について工事を行います。
- ・五宿踏切(2m拡幅)(三鷹～武蔵境間 武蔵野市内)
工事期間：2ヶ月(別紙の 箇所)
 - ・緑町踏切(2m拡幅)(東小金井～武蔵小金井間 小金井市内)
工事期間：3週間(別紙の 箇所)
- 施工にあたっては工事期間の短縮に努めます。

(3) 既設地下道の交通の円滑化

- ・朝のラッシュ時には、本村人道地下道に設置されている柵を外し、自転車や歩行者の円滑な通行を確保します。また、交通の安全性を確保するため、保安要員を配置します。(三鷹～武蔵境間 武蔵野市内)
工事期間：2週間

2. その他の対策

- 1) 踏切の保安要員配置の期間を延長します。
- 2) 案内看板の設置箇所を増やし、情報提供を強化します。

上記の対策をできるだけ早期に実現するため、東京都、関係市および近隣にお住まいの皆様方のご理解とご協力をいただいで早急 to 実施してまいります。

中央線三鷹駅～国分寺駅間 踏切横断対策

